

マイ・タイムライン

「ひなん行動判定フロー」を確認しましょう

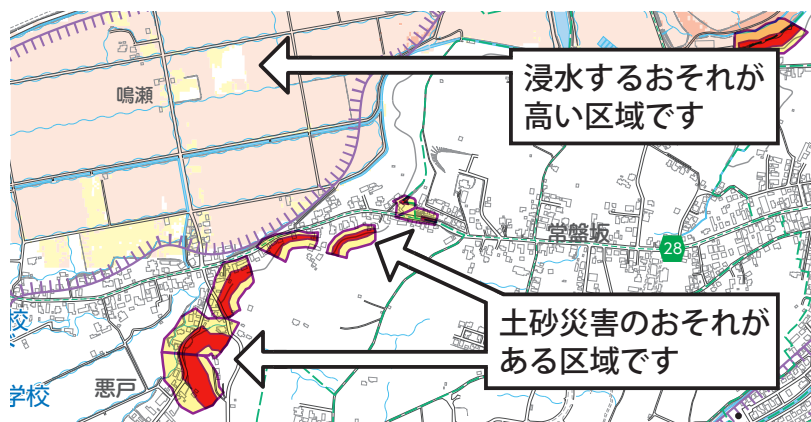
平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスクととるべき行動を
確認しましょう。

市から事前に発令する避難勧告等は原則として「洪水」「土砂災害」「火山」のみです。

防災マップの見方

必ず確認してください



水害

洪水浸水想定区域
(浸水深)

3-4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

凡例

土砂災害

土砂災害警戒区域：
土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域：
建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域



洪水や土砂災害に関する

警戒レベル3や4が出たら、危険な場所からひなんしましょう
(岩木山の場合は噴火警戒レベル4や5)※常盤野地区は岩木山噴火警戒レベル2や3



「避難」とは「難」を「避」けることです
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません
避難勧告・避難指示(緊急)が発令されても必ず避難場所に行く必要はありません。



ひなん先は小中学校・公共施設だけではありません
安全な親戚・知人宅にひなんすることも考えてみましょう
ひなん行動とは指定緊急避難場所に行くことだけでなく、自分の身を守る行動のことです。

命を守るために情報の収集に努めてください

避難情報や防災気象情報は、市や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネットなどから発信される情報の収集に努めましょう。



テレビ・ラジオ



インターネット・携帯電話



防災無線・広報車

マイ・タイムライン

ひなん行動判定フロー

あなたがとるべきひなん行動は？ **必ず取り組みましょう**

9～14頁で自分の家がある地区(住所)に危険区域があるか確認しましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害、岩木山噴火による被害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある地区(住所)に「土砂災害警戒区域」・「洪水浸水想定区域」・「岩木山噴火の影響」のいずれかに●がありますか？

いいえ

「洪水」・「土砂災害」・「岩木山噴火」について原則としてひなんの必要はありませんが、地図を確認し、周り比べて低い土地(過去の洪水での浸水範囲)や崖のそばなどにお住まいの方は、必要に応じてひなん行動をとってください。

はい

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

いいえ

家がある場所に色が塗られていますか？

災害の危険があるので、原則として*、自宅の外にひなんが必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①浸水する深さよりも高いところにいる
②浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。
※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

岩木山噴火については立退き避難が必要です。

はい

ご自身または一緒にひなんする方はひなんに時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

洪水や土砂災害に関する警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅にひなんしましょう(日頃から相談しておきましょう)

(岩木山の場合は噴火警戒レベル4)
※常盤野地区は岩木山噴火警戒レベル2

いいえ

洪水や土砂災害に関する警戒レベル3が出たら、市が開設している指定緊急避難場所にひなんしましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

洪水や土砂災害に関する警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅にひなんしましょう(日頃から相談しておきましょう)

(岩木山の場合は噴火警戒レベル5)
※常盤野地区は岩木山噴火警戒レベル3

いいえ

洪水や土砂災害に関する警戒レベル4が出たら、市が開設している指定緊急避難場所にひなんしましょう

※ひなんする場合には50頁の「災害時の感染症対策」をふまえてひなんしましょう。